

# ○報告書インスタンス作成ガイドライン 新旧対照表

第三版	第二版																																	
<p>はじめに</p> <p>『報告書インスタンス作成ガイドライン』(以下「本書」という。)は、金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム(以下「EDINET」という。)に、開示書類をオンラインXBRL(eXtensible Business Reporting Language)形式で提出する際に必要となる報告書インスタンスを作成するためのガイドライン(指針)となります。</p> <p>報告書インスタンスは、原則として、本書に従って作成してください。 (削除)</p> <p><b>4-2 報告書インスタンスのファイル名</b></p> <p><b>4-2-2 本文ファイル</b></p> <p>(略)</p> <p>ファイル名の先頭(7桁数値と6文字)の考え方</p> <p>図表 4-2-5 ファイル名の先頭の考え方</p>  <p>① 目次1階層(2桁半角数字)<sup>※1</sup> 例)第一部の内容について書き始める場合 → 01xxxx_任意名.jp... .htm</p> <p>② 目次2階層(2桁半角数字)<sup>※1</sup> 例)第2の内容について書き始める場合 → xx02xxx_任意名.jp... .htm</p> <p>③ 連番(000からの3桁半角数字)</p> <p>④ _(アンダースコア)及び任意名(6文字の半角英字) ※任意名は、6文字で指定します。一意である必要はありません。</p> <p><b>4-3 利用可能な文字コードと文字</b></p> <p><b>4-3-1 実体参照の入力</b></p> <p>図表 4-3-2 ix:タグ内に文字実体参照で入力できる文字の一覧</p> <table border="1" data-bbox="492 1665 1181 1898"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>入力文字</th> <th>代替文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>&lt;</td> <td>&amp;lt;</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>&gt;</td> <td>&amp;gt;</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>&amp;</td> <td>&amp;amp;</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>”</td> <td>&amp;quot;</td> </tr> </tbody> </table> <p>(削除)</p>	No	入力文字	代替文字	1	<	&lt;	2	>	&gt;	3	&	&amp;	4	”	&quot;	<p>はじめに</p> <p>『報告書インスタンス作成ガイドライン』(以下「本書」という。)は、金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム(以下「EDINET」という。)に、開示書類をオンラインXBRL(eXtensible Business Reporting Language)形式で提出する際に必要となる報告書インスタンスを作成するためのガイドライン(指針)となります。</p> <p>報告書インスタンスは、原則として、本書に従って作成してください。 なお、「<a href="http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/">http://info.edinet-dev.fsa.go.jp/</a>」で始まる各種URIは、仮のURIであり、今後変更される予定です。</p> <p><b>4-2 報告書インスタンスのファイル名</b></p> <p><b>4-2-2 本文ファイル</b></p> <p>(略)</p> <p>ファイル名の先頭(7桁数値と6文字)の考え方</p> <p>図表 4-2-5 ファイル名の先頭の考え方</p>  <p>① 目次1階層(2桁半角数字)<sup>※1</sup> 例)第一部の内容について書き始める場合 → 01xxxx_任意名... .htm</p> <p>② 目次2階層(2桁半角数字)<sup>※1</sup> 例)第2の内容について書き始める場合 → xx02xxx_任意名... .htm</p> <p>③ 連番(000からの3桁半角数字)</p> <p>④ _(アンダースコア)及び任意名(6文字の半角英小文字又は数字) ※任意名は、6文字で指定します。一意である必要はありません。</p> <p><b>4-3 利用可能な文字コードと文字</b></p> <p><b>4-3-1 実体参照の入力</b></p> <p>図表 4-3-2 ix:タグ内に文字実体参照で入力できる文字の一覧</p> <table border="1" data-bbox="1745 1665 2433 1898"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>入力文字</th> <th>代替文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>&lt;</td> <td>&amp;lt;</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>&gt;</td> <td>&amp;gt;</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>&amp;</td> <td>&amp;amp;</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>”</td> <td>&amp;quot;</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>'</td> <td>&amp;apos;</td> </tr> </tbody> </table>	No	入力文字	代替文字	1	<	&lt;	2	>	&gt;	3	&	&amp;	4	”	&quot;	5	'	&apos;
No	入力文字	代替文字																																
1	<	&lt;																																
2	>	&gt;																																
3	&	&amp;																																
4	”	&quot;																																
No	入力文字	代替文字																																
1	<	&lt;																																
2	>	&gt;																																
3	&	&amp;																																
4	”	&quot;																																
5	'	&apos;																																

## 5-2 名前空間プレフィックスと名前空間URI

(略)

図表 5-2-1 報告書インスタンスに設定する名前空間プレフィックス及び名前空間 URI の例

No	名前空間プレフィックス	名前空間URI	備考
1	ix	http://www.xbrl.org/2008/inlineXBRL	インラインXBRLの名前空間宣言
2	ixt	http://www.xbrl.org/inlieXBRL/transformation/2011-07-31	インラインXBRLのTransformation Ruleの名前空間宣言
	(略)		

## 5-4 コンテキストの定義

### 5-4-1 コンテキスト ID の命名規約

図表 5-4-4 コンテキスト ID の設定

No	項目	値	説明
1	{相対期間又は時点}	CurrentYear	当年度を意味します。
2		Interim	中間期を意味します。
3		Prior1Year	前年度を意味します。
4		Prior1Interim	前中間期を意味します。
5		Prior2Year	前々年度を意味します。
6		Prior2Interim	前々中間期を意味します。
7		Prior{n}Year	{n}年度前を意味します。
8		Prior{n}Interim	{n}年度前中間期を意味します。
9		CurrentYTD	当四半期累計期間を意味します。
10		CuretQartr	当四半期会計期間を意味します。
11		Prior{n}YTD	{n}年度前同四半期累計期間を意味します。
12		Prior{n}Quarter	{n}年度前同四半期会計期間を意味します。
13		FilingDate	提出日を意味します。
14		DateOfEvent	基準日を意味します。*
15	{期間又は時点}	Instant	時点を意味します。
16		Duration	期間を意味します。
17	{メンバーの要素名}	メンバーの要素名	メンバーの要素名を意味します。

※ただし、基準日が会計期間末と同じ日付の場合、会計期間末日のコンテキストIDを利用し、基準日のコンテキストIDは定義できません。

## 5-2 名前空間プレフィックスと名前空間URI

(略)

図表 5-2-1 報告書インスタンスに設定する名前空間プレフィックス及び名前空間 URI の例

No	名前空間プレフィックス	名前空間URI	備考
1	ix	<u>xmlns:ix="http://www.xbrl.org/2008/inlineXBRL"</u>	インラインXBRLの名前空間宣言
2	ixt	<u>xmlns:ixt="http://www.xbrl.org/inlieXBRL/transfo rmation/2011-07-31"</u>	インラインXBRLのTransformation Ruleの名前空間宣言
	(略)		

## 5-4 コンテキストの定義

### 5-4-1 コンテキスト ID の命名規約

図表 5-4-4 コンテキスト ID の設定

No	項目	値	説明	
1	{相対期間又は時点}	CurrentYear	当年度を意味します。	
2		Interim	中間期を意味します。	
3		Prior1Year	前年度を意味します。	
4		Prior1Interim	前中間期を意味します。	
5		Prior2Year	前々年度を意味します。	
		(追加)		
6		Prior{n}Year	{n}年度前を意味します。	
		(追加)		
7		CurrentYTD	当四半期累計期間を意味します。	
8		CurrentQuarter	当四半期会計期間を意味します。	
9		Prior{n}YTD	{n}年度前同四半期累計期間を意味します。	
10		Prior{n}Quarter	{n}年度前同四半期会計期間を意味します。	
11		FilingDate	提出日を意味します。	
12		DateOfEvent	基準日を意味します。*	
13	{期間又は時点}	Instant	時点を意味します。	
14		Duration	期間を意味します。	
15	{メンバーの要素名}	メンバーの要素名	メンバーの要素名を意味します。	

※ただし、基準日が会計期間末と同じ日付の場合、会計期間末日のコンテキストIDを利用し、基準日のコンテキストIDは定義できません。

## コンテキストの選び方

コンテキストの選び方について、有価証券報告書を例に説明します。

### ➡ 「相対期間又は時点」の選択指針

様式ツリーに定義された要素でタグ付けする場合は、簡便性を重視し次の画一的なコンテキスト ID を用います。

【経理の状況】中の記載 : 当会計期間(CurrentYear)

【経理の状況】以外の記載 : 提出日(FilingDate)

※「当会計期間(CurrentYear)は、有価証券届出書で次の事業年度の四半期又は中間期の財務諸表を記載する場合は、Prior1Year となることに注意してください。

※【経理の状況】中のコンテキスト ID は、次のように用いることに注意してください。

・四半期累計期間に係る記載 : 当四半期累計期間のコンテキストID

・四半期会計期間に係る記載 : 当四半期会計期間のコンテキストID

・中間期に係る記載 : 中間期のコンテキストID

※【経理の状況】中に、該当する事項がない場合又は【最近の財務諸表】について記載する場合は、提出日(FilingDate)のコンテキストID でタグ付けします。

※様式ツリーの要素が詳細ツリーと関連している場合、関連する詳細ツリーの要素でタグ付けするコンテキスト ID は、必ずしも様式ツリーの要素でタグ付けするコンテキスト ID と一致しないことに注意してください。例えば、様式ツリーの「連結経営指標等」の包括タグは、提出日(FilingDate)のコンテキストID でタグ付けしますが、「連結経営指標等」の詳細ツリーの要素は、会計期間又は会計期間末日のコンテキストID でタグ付けします。

## コンテキストの選び方

コンテキストの選び方について、有価証券報告書を例に説明します。

### ➡ 「相対期間又は時点」の選択指針

様式ツリーに定義された要素でタグ付けする場合は、簡便性を重視し次の画一的なコンテキスト ID を用います。

【経理の状況】中の記載 : 当会計期間(CurrentYear)

【経理の状況】以外の記載 : 提出日(FilingDate)

※「当会計期間(CurrentYear)は、有価証券届出書で次の事業年度の四半期又は中間期の財務諸表を記載する場合は、Prior1Year となることに注意してください。

※【経理の状況】中の四半期累計期間に係る記載は、当四半期累計期間のコンテキスト ID を、四半期会計期間に係る記載は、当四半期会計期間のコンテキストID をそれぞれ用いることに注意してください。

※様式ツリーの要素が詳細ツリーと関連している場合、関連する詳細ツリーの要素でタグ付けするコンテキスト ID は、必ずしも様式ツリーの要素でタグ付けするコンテキスト ID と一致しないことに注意してください。例えば、様式ツリーの「連結経営指標等」の包括タグは、提出日(FilingDate)のコンテキストID でタグ付けしますが、「連結経営指標等」の詳細ツリーの要素は、会計期間又は会計期間末日のコンテキストID でタグ付けします。

### 5-4-5 コンテキストの設定例

(削除)

(削除)

### 5-4-5 コンテキストの設定例

(略)

#### ➡ 前年度前四半期会計期間連結時点

コンテキストID		Prior1LastQuarterInstant
entity	scheme	http://info.edinet-dev.fsa.go.jp
	identifier	{EDINETコード}-{追番}
	segment	設定なし
period	startDate	設定なし
	endDate	設定なし
	instant	前年度前四半期会計期間期末日 (YYYY-MM-DD形式)
scenario		設定なし
説明		報告対象となる四半期会計期間の前期の期首日時点における連結の財務情報を報告するために利用します。

(略)

#### ➡ 前年度前四半期会計期間個別時点

コンテキストID		Prior1LastQuarterInstant_NonConsolidatedMember
entity	scheme	http://info.edinet-dev.fsa.go.jp
	identifier	{EDINETコード}-{追番}
	segment	設定なし
period	startDate	設定なし
	endDate	設定なし
	instant	前年度前四半期会計期間期末日 (YYYY-MM-DD形式)
scenario		<xbrldi:explicitMember dimension="jppfs_cor:ConsolidatedAndNonConsolidatedAxis"> jppfs_cor:NonConsolidatedMember </xbrldi:explicitMember>
説明		報告対象となる四半期会計期間の前期の期首日時点における個別の財務情報を報告するために利用します。

## 5-6 インラインXBRLファイルの作成

### 5-6-3 数値以外の値を表現する要素

#### 5-6-3-2 テキストブロック

(略)

【経理の状況】中の様式ツリーのテキストブロックは、当会計期間（有価証券届出書においては、直近事業年度。本章中において以下同じ。）及び比較対象会計期間（有価証券届出書において最近 2 事業年度について記載する場合は、前事業年度。本章中において以下同じ。）の両方の記載を当会計期間のコンテキスト ID でタグ付けします。ただし、当会計期間と比較対象会計期間と異なる要素を用いる必要がある場合には、異なるコンテキスト ID でタグ付けすることも可能です。

(略)

**注意** テキストブロックと table タグ

テキストブロックで table タグの内容をタグ付けする必要がある場合は、タグ付け可能になるよう XHTML の設計を行う必要があります。

図表 5-6-20 テキストブロックと table タグ(イメージ)

(略)

なお、有価証券届出書において最近 2 事業年度に係る財務諸表を記載する場合は、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項、重要な会計方針、貸借対照表関係、損益計算書関係、株主資本等変動計算書関係及びキャッシュ・フロー計算書関係(連結、中間及び四半期を含む。)については、それぞれ様式ツリーの目次項目レベルの包括タグによるタグ付けまでとし、それ以上の詳細なタグ付けはしません。

## 5-6 インラインXBRLファイルの作成

### 5-6-3 数値以外の値を表現する要素

#### 5-6-3-2 テキストブロック

(略)

【経理の状況】中の様式ツリーのテキストブロックは、当会計期間（有価証券届出書においては、直近事業年度。本章中において以下同じ。）及び比較対象会計期間（有価証券届出書において最近 2 事業年度について記載する場合は、前事業年度。本章中において以下同じ。）の両方の記載を当会計期間のコンテキスト ID でタグ付けします。

(略)

**注意** テキストブロックと table タグ

テキストブロックでタグ付けする一つのセルに記載する内容を、次の図表のように複数のセルに分けてタグ付けせず、一つのセルに収まるようにタグ付けします。

図表 5-6-20 テキストブロックと table タグ(イメージ)

(略)

(追加)

### 6-2-3-4 マニフェストファイルで使用する要素

マニフェストファイルで使用する要素について説明します。

図表 6-2-6 マニフェストファイルで使用する要素の一覧

要素名	説明	属性	
		属性名	属性値 (括弧内は説明)
manifest	マニフェストのルート要素	xmlns	URI (名前空間URI) ※シリーズファンドの目次の差し込み位置を指定する場合は、利用する目次要素が定義された語彙スキーマの名前空間 URI を指定します。
tocComposition	一つの文書の目次設定	なし	なし
title	文書タイトル(マニフェストファイルの配下にあるファイルにより構成される文書の名称。例えば、「提出本文書」、「独立監査人の報告書」)	xml:lang	ja(タイトルの文字属性が日本語の場合)
			en(タイトルの文字属性が英語の場合)
item	目次項目	ref	値(様式ツリーが対応する報告書インスタンスのID) ※item 要素から ref 属性で参照されます。
		extrole	様式ツリーの拡張リンクロール
		in	presentation(目次項目が定義されているリンクベースファイルの種別) ※ref 属性と一緒に利用します。
		start	代表となる提出者別タクソノミの様式ツリーに目次を差し込む際に、 <u>差し込みの開始位置となる目次項目の要素名を指定します。</u> ※主にシリーズファンドにおいて「ファンドの経理の状況」を指定します。
		end	代表となる提出者別タクソノミの様式ツリーに目次を差し込む際に、 <u>差し込みの終了位置となる目次項目の要素名を指定します。</u> ※終了位置を指定しない場合は、extrole 属性に指定した拡張リンクロールに設定されている全ての目次項目が代表となる提出者別タクソノミの様式ツリーに差し込まれます。 end 属性の設定は必須ではありません。  参照 「図表 6-2-6 start 属性及び end 属性の指定」

### 6-2-3-4 マニフェストファイルで使用する要素

マニフェストファイルで使用する要素について説明します。

図表 6-2-6 マニフェストファイルで使用する要素の一覧

要素名	説明	属性	
		属性名	属性値 (括弧内は説明)
manifest	マニフェストのルート要素	xmlns	URI (名前空間URI) ※シリーズファンドの目次の差し込み位置を指定する場合は、利用する目次要素が定義された語彙スキーマの名前空間 URI を指定します。
tocComposition	一つの文書の目次設定	なし	なし
title	文書タイトル ※「提出本文書」「監査報告書」等	xml:lang	ja(タイトルの文字属性が日本語の場合)
			en(タイトルの文字属性が英語の場合)
item	目次項目	ref	値(様式ツリーが対応する報告書インスタンスのID) ※item 要素から ref 属性で参照されます。
		extrole	様式ツリーの拡張リンクロール
		in	presentation(目次項目が定義されているリンクベースファイルの種別) ※ref 属性と一緒に利用します。
		start	様式ツリーの途中から開始する場合、 <u>要素名を指定します。</u> ※主に目次差し込み時に使用します。
		end	様式ツリーの途中で終わる場合、 <u>要素名を指定します。</u> ※主に目次差し込み時に使用します。

insert	目次項目の差し込み(複数の報告書インスタンスの目次項目を差し込む場合) ※子要素として「item」要素を設定し差し込む目次項目の値を指定します。	parent	差し込みする内容の親要素名
list	提出データに格納されている報告書インスタンスファイルのリスト	なし	なし
instance	報告書インスタンスのリスト	id	値(報告書インスタンスのID) ※item 要素から ref 属性で参照されます。
		type	フォルダ名(報告書インスタンスの保存フォルダ名) ※PublicDoc、AuditDoc 等を指定します。
		preferred Filename	ファイル名(XBRLインスタンスファイル)
ixbrl	XBRLインスタンスファイルを構成するインラインXBRLファイル名の定義	なし	なし

次の図表の例では、A ファンドの「第 3【ファンドの経理状況】」及び B ファンドの「第 3【ファンドの経理状況】」を start 属性に指定します。また、end 属性には A ファンドのように「【附属明細表】」を明示的に指定するか、B ファンドのように end 属性を指定しない(指定しない場合は、全ての目次項目が差し込まれます。)ことも可能です。

insert	目次項目の差し込み(複数の報告書インスタンスの目次項目を差し込む場合) ※子要素として「item」要素を設定し差し込む目次項目の値を指定します。	parent	差し込みする内容の親要素名
list	提出データに格納されている報告書インスタンスファイルのリスト	なし	なし
instance	報告書インスタンスのリスト	id	値(報告書インスタンスのID) ※item 要素から ref 属性で参照されます。
		type	フォルダ名(報告書インスタンスの保存フォルダ名) ※PublicDoc、AuditDoc 等を指定します。
		preferred Filename	ファイル名(XBRLインスタンスファイル)
ixbrl	XBRLインスタンスファイルを構成するインラインXBRLファイル名の定義	なし	なし

(追加)

図表 6-2-6 start 属性及び end 属性の指定



(追加)

## 7-6 「同上」、「同左」等の記載

個々にタグ付けする要素の記載内容には、「同上」、「同左」、「リ」等、他の記載を参照する文言を用いないことを推奨します。

図表 7-6-1 「同上」が記載される例

【表紙】		【表紙】	
【提出書類】	四半期報告書	【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項	【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長	【提出先】	関東財務局長
...		...	
【本店の所在の場所】	東京都千代田区...	【本店の所在の場所】	東京都千代田区...
【電話番号】	03-XXXX-XXXX (代表)	【電話番号】	03-XXXX-XXXX (代表)
【事務連絡者氏名】	企画部長 財務 太郎	【事務連絡者氏名】	企画部長 財務 太郎
【最寄りの連絡場所】	同上	【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区...
【電話番号】	同上	【電話番号】	03-XXXX-XXXX
【事務連絡者氏名】	同上	【事務連絡者氏名】	企画部長 財務 太郎

→

それぞれタグ付けする項目

「同上」を用いずに記載

(追加)